

製品名: オーロラ B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab01314**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 39 kDa; Observed MW: 39 kDa

抗原情報

遺伝子名	AURKB
別名	AURKB; AIK2; AIM1; AIRK2; ARK2; STK1; STK12; STK5; Aurora kinase B; Aurora 1; Aurora- and IPL1-like midbody-associated protein 1; AIM-1; Aurora/IPL1-related kinase 2; ARK-2; Aurora-related kinase 2; STK-1; Serine/threonine-protein kinase 12
遺伝子 ID	9212
SwissProt ID	Q96GD4
免疫原	ヒトオーロラ B の合成ペプチド

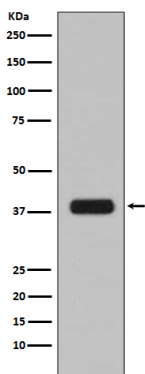
背景

極性紡錘体微小管の切断を直接制御する可能性があり、有糸分裂中の細胞質分裂開始の重要な調節因子である。染色体パッセンジャー複合体 (CPC) の構成要素であり、有糸分裂の重要な調節因子として機能する。CPC 複合体は、セントロメアにおいて染色体の正しい配列と分離を確保する上で重要な機能を有し、クロマチン誘導性の微小管安定化と紡錘体形成に必須である。

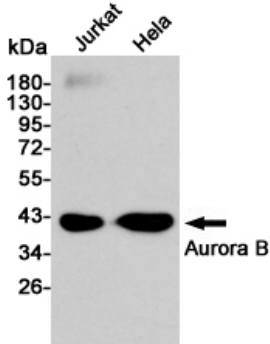
研究分野

細胞生物学

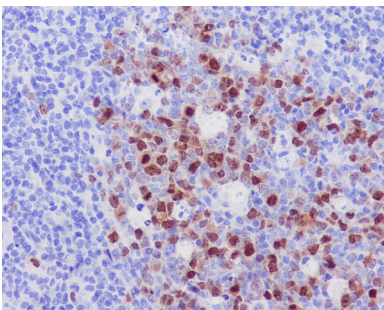
画像データ



Aurora B 抗体を使用した HeLa 溶解物中の Aurora B のウェスタンブロット分析。



Aurora B 抗体を使用した、Jurkat および HeLa 溶解物中の Aurora B のウェスタンブロット分析。



オーロラ B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。